



平成30年5月10日 編集・発行 東大淀小学校 中北好美

楽しい田植え体験から！

気づき・学びへ♪



5年生17名が早修小・豊浜西小とともに東大淀小実習田で、田植え農業体験を行いました。



←話を聞いて、教えてもらったことをしっかり守って、やさしく田植えをする子どもたち。

1列、2列と前に進んでいく指示紐に沿って、苗2～3本を1束にし、泥土に押し込んでいきます。最初はこわごわだった子どもたちも、慣れるに従って上手になっていきました。

よい質問がよい学びを引き出します♡

体験は楽しいものですが、それで終わっては学びにはつながりません。体験の後の質問タイムで本校の子どもたちは、苗になる前の種(粃)や収穫のことにも思いを馳せ、とてもよい質問をしました。楽しい田植え体験がたくさん気づきと学びにつながったことがうかがえました。

Q1「よい種はどんな種？」 **A1**「塩水につけて浮いてこないのが、よい種。9割は、よい種。」

Q2「種から苗をどうやって育てる？」 **A2**「育苗箱で湿度が高く温かい暗い所で育てる。芽が出てきたら光に当て緑色にする。ビニールハウスなどで、きめ細かく管理することが大切。」

Q3「米はどれくらいとれる？」 **A3**「10aで約480kg。今日植えた1株で、おちゃわん1杯くらい。」

「くすのき学習」で育てる！「くすのきさん」について語れる子ども

東大淀小の校庭の真ん中に立つ「くすのき」は東大淀小のシンボルであり、子どもたちからは「くすのきさん」と呼ばれるほど身近な存在となっています。春には葉を落とし、初夏には白黄色の花をつけ、夏には涼しいこかげをつくり、晩秋になると黒褐色の実を落とします。くすのきのこのような四季の変化を、子どもたちは何となく感じ取ってはいますが、そのことをあらためて学習したり、まとめて発信したりした経験はあまりありません。また、ずいぶん昔からあると知ってはいますが、くすのきにどのような歴史があるのか、実際にはよく知らないことも多いです。

そこでこの「くすのき」について、観察や体験、聞き取りや取材を通して理科的・歴史的に調べることによって、よく言われているアクティブ・ラーニング(探究的な学習)のしかたを身につけるとともに、くすのきをより身近に感じ「くすのきさん」について語れる子どもを育てる「くすのき学習」を展開したいと考えました。

その「くすのき学習」の1つとして、環境省アクティブ・レンジャーおよび自然観察指導員を招いて、4年理科において年間4回(8時間)程度の「くすのき学習」を実施します。第1回は5月21日(月)3・4限です。関心のある方は、ぜひお越しください。

もじアートで たてわり班の「絆」深まる♪

雨の心配もありましたが、100人全員で出かけた春の遠足。児童会の企画では砂を掘ってくっきりさせたり、貝殻や花を並べて色をつけたりして、素晴らしい「もじアート」ができあがりしました。砂のお城づくりと合わせて、たてわり班の「絆」が深まった心温まる活動でした。



←「ひ・が・し・お・い・ず」



↑ 行き帰りでは、やさしく1年生の手を引く6年生の姿も。



↑ お弁当もごちそうさま♪雨が降り出す前にお弁当を食べられてよかったです。

～行事予定～

- 5月15日(火) スクールカウンセラー来校
- 19日(土) PTA資源リサイクル活動
予備日 26日
- 21日(月) 4年理科くすのき学習3.4限
予備日 28日
- 22日(火) 4年清掃工場見学(午前)
予備日 25日
- 23日(水)・24日(木) 6年・修学旅行
- 28日(月) PTA登校指導・クラブ